

義援金ありがとうございます

令和6年能登半島地震災害義援金

受付期間：令和9年3月31日まで
(R8.7.11～R8.8.17受付分)

氏名（敬称略・受付順）	金額
匿名	¥5,000

令和8年熊本地震義援金

令和8年7月28日発生の熊本地震により被災された方々を支援するための義援金です。

受付期間：令和8年10月30日まで
(R8.8.4～R8.8.17受付分)

氏名（敬称略・受付順）	金額
アマチュア無線を語ろう会	¥23,911
アグリング	¥13,000
ニシカワ	¥100,000
稲美町民生委員・児童委員	¥31,302
匿名	¥5,000
稲美ぽかぽかグループ	¥7,000
匿名	¥10,000

参加者募集 稲美町手をつなぐ育成会 主催

出前研修会

知的障害がある人の障害基礎年金

お子さんの将来のために今から学んで備える

日 時：9月30日（水）
10月4日（日）
いずれも10:30～12:30
（2回とも同じ内容です）

場 所：いきがい創造センター
1階 ワーキングスペース
（稲美町国岡1-1）

参加費：無料

申 込：要（LINE、メール、郵送）

下記内容を明記してお申込ください。

①参加希望日 ②参加者氏名

③お子さんの年齢、学校園名、学年

※保護者以外の方が参加される場合は、
ご職業と参加動機を記入してください。

※郵送先 稲美町手をつなぐ育成会事務局
〒675-1105 稲美町加古4369-3
（郵送の方はSMSを受信できる電話番号を
記載してください）

後 援：稲美町社会福祉協議会

受講生募集 ボランティアグループ

きっかけの輪づくり応援団 金のわらじ主催

男性30～42歳、女性年齢フリー

♪出会いを応援します♪

日 時：10月25日（日）10:30～13:00
（受付10:00～10:20）

場 所：障がい者ふれあいセンター（稲美町加古4369-3）
※駐車場多数あり

内 容：アプローチカード、トークタイム等

対 象：独身で結婚をまじめに考えておられる方

参加費）男性：1,000円 女性：500円

【申込方法】

①QRコード ②郵送

稲美町社会福祉協議会 金のわらじ婚活イベント係まで
返信用封筒を送付してください。後日、申込用紙を郵送
いたします。（送付先住所氏名記入の上110円切手貼付要）

10/14（水）
メ切

善意の預託ありがとうございました			
(令和8年7月受付分)			
金銭寄附	氏名（敬称略）	金 額	内 容
	匿名	¥626	寄付
	匿名	¥100,000	粗供養
	匿名	¥50,000	粗供養
	(有)長石造園	¥10,000	寄付
物品預託	氏名（敬称略）	物 品	内 容
	匿名	介護用品数点	寄付
	匿名	介護用品9点	寄付
	農耕民族瀧尻	食品6kg	寄付
	(株)マルアイ	食品30kg	寄附
	匿名	介護用品多数	寄付
	ファミリーマート稲美五軒屋店・稲美蛸草店	食品20kg	寄付
	匿名	書き損じはがき16枚、切手11枚	寄付
	匿名	食品5kg	寄付
	旭食品(株)	食品20kg	寄付

社協のつづやき 9月は防災について考える機会が多い時期です。
災害時には、高齢者や障がいのある方など、避難や情報の受け取りに
配慮が必要な「要配慮者」への支援が重要となります。いざという時に安心して避難できるよう、日頃から地域で顔の
見える関係を築き、一人ひとりの状況や希望に合わせた「合理的配慮」について考えておくことも大切です。普段から
お互いを気にかけて、無理のない範囲で声をかけ合える地域を、みんなでつくっていきませんか。（F.A）

- オープンカフェ（みんなの居場所事業） 原則毎月第2金曜日 10時～11時30分 障害者ふれあいセンター 予約不要 100円要
- 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい 原則毎月第2水曜日 10時～12時 障害者ふれあいセンター 予約不要
- いるとりどり（こどもの療育と支援を考える会） 原則毎月第3木曜日 10時～12時 予約不要

ひとりぽっちをつくらない地域づくり

月刊広報

稲美の社協さん

編集発行 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会
〒675-1105 兵庫県加古郡稲美町加古4369-3
障害者ふれあいセンター内
TEL(079)492-8668 FAX(079)492-9170

稲美町社会福祉協議会キャラクター
まいまいちゃん(左) コスティアちゃん(右)

令和8年(2026)
9月号
NO.360

心によりそう

「うんうん」

のチカラ

～話を聴くことが、誰かの支えになる～
令和8年度傾聴講座

11/9（月）・26（木）

11/6まで
要申込
参加費
¥300

日 時 ①11月9日（月） ②11月26日（木）
いずれも13:30～15:30（2回講座）

場 所 ①障害者ふれあいセンター 2階 多目的室にて座学
②障害者ふれあいセンターに集合し
デイスサービスセンターJAはなかごに向かいます

講 師 ①北原 由美氏（聴きプロ.com 理事長）
②傾聴ボランティア陽だまりの会

参加費 300円
（全2回分・1回のみ参加でも同額）

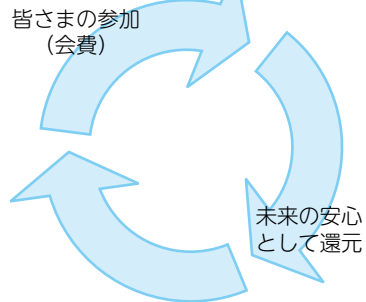
定 員 20名
（どなたでも大歓迎）

申 込 稲美町社会福祉協議会 TEL 079-492-8668

●福祉会費活用事業
この講座は、皆さまからご協力いただいた福祉会費を財源の一部として実施しています。

- いつもあたたかいご協力ありがとうございます
- 善意銀行 受付随時 ■赤い羽根共同募金 毎年10月～12月 ■歳末助け合い募金 毎年12月

令和8年度 福社会費 報告 3,553,600円 「誰かのため」が、 地域の、そして自分自身の未来の安心につながります。



福社会費へのご協力、誠にありがとうございました。
いただいた会費は、町内での福祉活動の『原動力』となります。
皆さまの会費としての参加が巡り巡って、支え合い活動を生み、
「支え合いのシステム」を動かし続けています。
皆様のあたたかいお気持ちが、地域を支える確かな力として今日も循環しています。

【生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどい】

原則毎月第2水曜日 障害者ふれあいセンター
10:00～12:00
発達障害などのちょっとした違いで社会とうまく距離がつかめない、などの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会で悩みや情報の分かち合いをしています。

【介護者の会「さくら草の会」】

原則毎月第4金曜日 障害者ふれあいセンター
10:00～11:30

【居場所づくり事業「オープンかふえ」】

原則毎月第2金曜日 障害者ふれあいセンター
10:00～11:30

【暮らしの法律相談】相続、登記など

・司法書士相談

原則毎月第1木曜日 総合福祉会館
原則毎月第3木曜日 母里福祉会館
いずれも13:30～14:30
事前予約要 ☎079-492-8668

・弁護士相談

原則毎月第2木曜日 障害者ふれあいセンター
13:00～15:00
事前予約要 ☎079-492-8668

わだい 人生の整理術講座を開催しました

「今」だからこそできる、3つの備え

① 「今の気持ち」を家族に伝える

「うちは仲がいいから大丈夫」と思っている、相続や財産のことは思わぬトラブルにつながる可能性があります。

元気な今だからこそ、自分の思いや希望を家族と話し合ったり、書き留めたりすることが、将来の安心につながります。

日時：6月9日(火) 講師：宮本 三鈴氏 (司法書士)

② 整理は「引き出し一つ」から

家の中を一度に片付ける必要はありません。

まずは引き出し一つ、棚一段から。「これからも使いたいもの」「大切にしたいもの」は自分を主役に選ぶことが、心地よい暮らしへの第一歩です。

日時：6月23日(火)

講師：さいき かよこ氏 (ライフオーガナイザー®・元管理栄養士)

中谷 健太郎氏 (古道具屋タクミ)

③ 人とのつながりを育てる

安心して暮らし続けるためには、人とのつながりも大切です。

困ったときに相談できる人や、気軽に声を掛け合える地域とのつながりは、いざという時の大きな支えになります。

日時：7月16日(木) 講師：田川 雅規氏 (あそびの工房もくもく屋)

講座で学んだ、大切なポイントをご紹介します。



地域とのつながりも、
終活のひとつです。

ふくし豆知識

9月1日は「防災の日」

災害は、いつ起こるかわかりません。いざという時に備え、ご家庭で防災について話し合ってみませんか。

□ 非常持ち出し袋や備蓄品を確認する

飲料水や非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを見直しましょう。

□ 避難場所・経路を確認する

家族で集合場所や連絡方法を決めておくことで安心です。

□ 地域とのつながりを大切に

日頃からあいさつや地域活動を通じて顔の見える関係を築くことも、大切な防災対策です。

「自分の備え」と「地域の備え」の両方を意識し、災害に強いまちづくりにつなげましょう。

応援します 教育支援資金

学費の捻出が困難な低所得世帯の学生に対し、高等学校や大学等への入学時または在学中に必要な費用を貸付けることで、就学や将来の就労を支援する制度です。

【対象となる世帯】

- ①兵庫県内の同一地域に6か月以上居住している世帯
- ②低所得世帯（世帯収入が市区町民税非課税程度、または生活保護基準の1.8倍程度の所得）
- ③他からの融資を受けることが困難、または融資を受けても進学・在学が困難な世帯

【対象となる学校】

高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校（高等課程、専門課程）
※通信制、定時制課程を含む
※大学院、予備校、外国の学校（留学含む）、専修学校の一般課程（生涯教育等）は対象外

【貸付限度額】

就学支度費 500,000円
（入学に際し必要となる入学金や制服代等が対象）
教育支援費（在学中に必要な授業料や教科書代、通学定期代等が対象）
高等学校 月額35,000円以内／高等専門学校 月額60,000円以内
短期大学 月額60,000円以内／大学 月額65,000円以内

【貸付利子】無利子

【償還期間】20年

※申請にはその他要件や審査があります。詳しくは、本会までお問合せください。

災害ボランティアセンター 立上げ訓練を実施しました



▲段ボールベッド組み立て体験



令和8年8月4日(火)
稲美町立加古福祉会館さくらめきホール
協力：稲美町役場危機管理課2名
地域福祉課1名

参加：稲美北中学校（学生4名、先生1名）
兵庫大学（学生5名、先生1名）
食のボランティア「ふきのとう」5名
ボランティア2名、一般1名
職員（在宅サービスセンター4名、事務局5名）

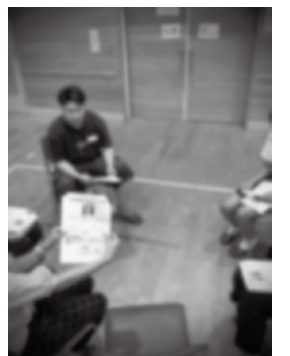
◆災害ボランティアセンターの役割や災害時の対応について学ぶとともに、段ボールベッドの組み立てを体験しました。また、実際に被災地で支援活動を行った方から、現地での活動や経験についてお話を伺い、災害時に必要となる支え合いの大切さを学びました。

◆クロスロードでは、災害時に起こり得るさまざまな場面について、一人ひとりが「自分ならどうするか」を考えました。正解が一つではない問いだからこそ、参加者同士で理由を伝え合い、多様な考え方や新たな気づきを得る機会となりました。

◆災害への備えは、食料や飲料水などの備蓄だけではありません。日頃から話し合い、お互いの考えを理解し合うことや、いざという時に支え合える地域とのつながりを築くことも大切です。

今回の訓練が、一人ひとりの防災意識を高めるとともに、地域で助け合うことの大切さを改めて考えるきっかけとなりました。

ご参加・ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



▲クロスロード

■暮らしの法律相談・弁護士相談 原則毎月第2木曜日13時～15時 障害者ふれあいセンター 次回相談日 前日12時迄の予約要（先着4名）
■暮らしの法律相談・司法書士相談 原則毎月第1・3木曜日13時30分～15時（第1）総合福祉会館（第3）母里福祉会館 前月1日から予約受付
■障がい者基幹相談支援センター 相談随時 月～金曜日 8時30分～17時15分 祝日除く ☎079-492-5577